

競技上の確認事項

- 1 競技は、2017年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 開館時刻 8：00 滝沢総合公園体育館
9：30 雫石町営体育館 滝沢市東部体育館
- 3 エントリー確認用紙を監督会議終了時に競技委員長に提出すること。
これ以外の変更は、いかなる場合も一切認めない。
- 4 開会式前はフロアでの練習を禁ずる。
- 5 開会式に参加する選手は12名以内とし、統一したユニフォームを着用すること。
(マネージャーの参加も認める)
- 6 第1試合の前の練習はコート設営が完了し、コート系の許可が出てから自由にコートを使って練習できる。ただし、ネット越しのプレーは禁ずる。
- 7 ベンチ及びフロアには有効に登録された監督、コーチ、マネージャー及び選手以外は入ることができない。ただし、プロトコール前は、当該校の中学生の入場も認める。
- 8 監督、コーチ、マネージャーマークは左胸部につけ、監督、コーチは統一された服装でベンチに入ること。チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークを付けること。
- 9 試合開始の予定時刻を定めているが、第2試合以降は予定した時刻より遅れることがあっても早く開始されることはない。プロトコール開始は、プログラム記載時刻の11分前とする。各試合とも10分の合同練習（パス程度）後、プロトコールに入る。
なお、当該チームの試合が連続してしまう場合は、前の試合が2セットで終了した場合は最大15分間、3セットの場合は最大20分間空けてプロトコールに入る。
- 10 公式練習は6分間とする。合同で公式練習を実施しない場合は、各チーム3分間とする。
- 11 1日目の第1試合の生徒役員は、各コート第3試合のチームから線審（4名）を出すこととする。1日目の第2試合以降は、敗者チームから線審（4名）を出すこととする。
2日目以降、全試合生徒役員は岩手地区の生徒で行う。

審判上の確認事項

- 1 本大会は、2017年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則に準じる。
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 試合進行で、ボールデットの時間は8秒である。次のサーバーは準備を速やかに行う事。
また、コート後方に行った場合はセカンドメンバー等がボールを取りに行くように協力をお願いします。
- 3 各コートには、ウォーム・アップエリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 4 試合中のチームは、セット間でフリー・ゾーンにおいてボールの使用を認めるが、隣のコートの妨げにならないように注意し、パス程度とする。
- 5 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと
(相手チームに向かってのガッツポーズ等)。
- 6 いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意する。また、コート上の選手がベンチのスタッフや 交代競技者ともタッチ（ハイタッチなど）を行わないこと。
- 7 タイムアウトの要求は、ベンチから立ち上がりコールしながらオフィシャルハンドシグナルを明確にして示すこと。
- 8 サブスティチューションは、ナンバーカードを用いてのクイックサブスティチューションで行う。
- 9 ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。コート内の選手で対処しきれない場合に備えて、控えメンバーもしくはその他の部員からクイックモップパー（2名以内）を待機させることができる。
- 10 リベロとの交代については、サイドライン上でいったん立ち止まってから交代すること。
- 11 給水のためのタイムアウト（WTO）を全試合で採用する。